

「サービスロボットとAI応用」

日本の人口減と高齢化により人手不足問題は、今後ますます深刻化することが予想されております。労働力人口を増やせない、生産性を上げる取組として、サービスロボットとAI(人工知能)技術の実用化は大きく期待されています。頭脳とも言えるAI、手足となるロボット、実用化に向けて様々な課題はありますが、機能と応用シーンを限定すれば、たくさんの所で活用できます。

AI技術の実用化に大きく貢献してきた三つの駆動力(コンピュータの計算能力、ビッグデータとアルゴリズム)の技術向上の他、各シーンにおけるAI技術の応用実践は非常に重要です。サービスロボットはAI応用実践の最適なプラットフォームと思われます。

本セミナーでは電気通信大学のアプローチ、中国発のサービスロボットとAI応用業界の企業家たちからの報告を取りまとめます。

- 日時: 2018年10月18日(木)
- 場所: 電気通信大学 創立80周年記念会館 3階フォーラム

参加費: 3,000円(資料代、飲み物代を含む)

事業協力会会員・学内教職員・学生・は無料

申込み: 本センターのホームページから申込みフォームで
ご登録ください

<http://www.crc.uec.ac.jp/pickup/seminar/115.html>

アクセス <http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/>

企画: 電気通信大学 産学官連携センター 客員教授 宋 育剛

プログラム

- 13:00~13:05 開会挨拶 理事 中野 和司
- 13:05~14:05 「AI+サービスロボットの応用展望」
蘇州穿山甲機器人股份有限公司 (Pangolin) CEO
宋 育剛 (Song YuGang) 氏
- 14:05~15:05 「Online-Offline融合のロボット応用」
浙江遠伝信息技术股份有限公司 (UTRY) CEO
嵇 望 (Ji Wang) 氏
- <休憩>
- 15:15~16:15 「ロボット用LIDAR自律ナビゲーションシステムの設計と製品コンセプト」
上海思嵐科技有限公司 (SLAM Tech) CEO
陳 士凱 (Chen ShiKai) 氏
- 16:15~16:25 質疑応答
- 16:25~16:30 閉会挨拶 産学官連携支援部門長 森倉 晋

主催: 電気通信大学 産学官連携センター 共催: 電気通信大学産学官連携センター事業協力会 後援: 一般社団法人目黒会(電気通信大学同窓会)

問合せ先: 電気通信大学産学官連携センター

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 TEL: 042-443-5725

FAX: 042-490-5727